

【ご報告】 令和8年度関東高等学校陸上競技大会出場

～ 海一陸上部を応援してくださる皆様へ ～



「県総体決勝で入賞し、関東総体出場を決める」

私が4年前に水海道一高に赴任した頃から、当時の部員たちと掲げてきた目標です。

今回の県総体において、念願のリレー種目(4×400mリレー)入賞・関東総体出場を決めることができました。

これまでの4年間、投てきやハードルなどの個人種目においては実現したものの、リレー種目においてはあと一歩が届きませんでした。しかし、昨年度秋の新人戦において、女子4×100mリレー6位入賞、4×400mリレー4位入賞を果たしました。リレーでの“県大会入賞”の喜びと、“関東大会を逃した”という悔しさが半々……。その経験が、「私たちならいける」と部員たちの思いをさらに強固なものにし、今日まで走り続けてきました。

部員のほとんどが“陸上競技未経験”でスタートする海一陸上部ですが、非常に素直でひたむきに努力ができるため、驚くほどのスピードで成長していきます。大人の私でも、高校生である部員たち一人ひとりの人間性や、選手としての向上心を心から尊敬しています。

1日1ミリ、髪の毛が伸びるような努力。1日や1週間では気づかない変化でも、それを1ヶ月、3ヶ月と積み重ねていくと、確かに目に見える変化が現れます。自分に向き合い、できることをひたすら積み上げていった者が大きな成果を得られる。それこそが陸上競技の魅力であると今回再確認することができ、私自身も常に変わり続けなければいけないと強く思いました。勇気と感動を与えてくれた部員たちに感謝しています。

そして、そんな部員たちを支え、応援してくださる方々がいるからこそ、海一陸上部の活動が成り立ち、私も部員も日々充実した時間を過ごせていると感じています。

何より大切な生活を支えてくださる保護者の皆様、部の伝統を守り改革をし続けてくださった卒業生、合同練習で競い合った他校の選手たち、合宿でお世話になった旅館の方々、専門的なアドバイスをいただいた先生・指導者の方々……。考えてみると非常に多くの方々の顔が浮かび、感謝の気持ちでいっぱいになります。本当にありがとうございます。

これからも「応援されるチーム」であり続けられるよう、部員とともに一步一步、日々の努力を積み上げていきます。今後とも海一陸上部への温かいご声援をよろしくお願いいたします。

水海道一高陸上競技部 顧問 鈴木 愛弓